

2018年度流通体制に関する アンケート調査結果

アンケート調査の 概要

- **調査方法** 会員会社へのMail送信による聞き取り調査
- **調査期間** 2018年4月1日～2019年3月31日
- **調査期日** 2019年8月1日
- **提出会社** 40社中38社（提出率：95%）

前提条件

- 会員各社の決算月が異なりますが、アンケートは直近2期分の決算の数字でご返答下さい。例えば3月決算の会社は2018年3月度決算と2019年3月度決算の数字を、12月決算の会社は2017年12月度決算と2018年12月度決算の数字をご記入下さい。
- 吸収合併など集計に影響を及ぼすと考えられる事項があった場合は、備考欄にご記入下さい。
- 対象品目は承認品目とし、販売のみの製品は除いて下さい。また、原薬の販売や受託加工賃は含めず、あくまでも医療用医薬品の最終製品の売上高のみをご記入下さい（*質問4については全販売品目を対象としてご回答願います）。

調査結果

質問1

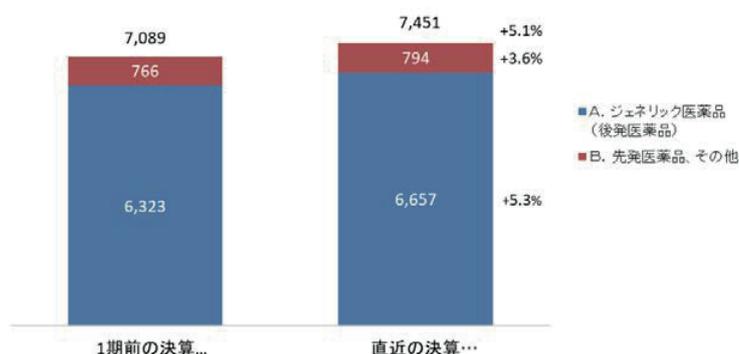
御社の医療用医薬品の販売金額と構成比をご記入下さい。

- 「A.ジェネリック医薬品(後発医薬品)」は、「診療報酬上の後発医薬品」(日本薬局方における「診療報酬上の後発医薬品」は含み、昭和42年9月末日以前承認品目は除く)を対象として下さい。
- 「B.先発医薬品」については、上記に該当しない医療用医薬品の売上をご記入下さい。

販売金額と構成比

	1期前の決算 (億円)	構成比 (%)	直近の決算 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)
A. ジェネリック医薬品 (後発医薬品)	6,323	89.2%	6,657	89.3%	+5.3%
B. 先発医薬品、その他	766	10.8%	794	10.7%	+3.6%
医療用医薬品 合計	7,089	100.0%	7,451	100.0%	5.1%

回答社数：35社（未回答3社）※未回答には医療用医薬品の合計のみを開示した1社を含む



販売金額と構成比

医療用医薬品の売上規模	1期前の決算	直近の決算
1000億円超	2	2
800億～1000億円	1	1
600億～800億円	1	1
500億～600億円	0	0
400億～500億円	0	0
300億～400億円	0	1
200億～300億円	3	3
100億～200億円	8	6
50～100億円	7	7
0-50億円	14	15
未回答	2	2
	38	38

GE 医薬品の売上規模

GE医薬品の売上規模	1期前の決算	直近の決算
1000億円超	2	2
800億～1000億円	1	1
600億～800億円	0	1
500億～600億円	1	0
400億～500億円	0	0
300億～400億円	0	0
200億～300億円	1	2
100億～200億円	5	5
50～100億円	9	7
0-50億円	16	17
未回答	3	3
	38	38

コメント

回答のあった35社の医療用医薬品の売上の合計は7,451億円、そのうちジェネリック医薬品の売上高は6,657億円で、前年度からの伸長は+5.3%であった(販売額ベース)

質問2

質問1の「A. ジェネリック医薬品(後発医薬品)」について、ルート別年間売上(単位:百万円)と構成比をご記入下さい。

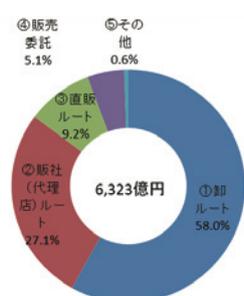
○「A. ジェネリック医薬品(後発医薬品)」の金額が、以下の合計と等しくなるよう記載下さい。

ルート別年間売上

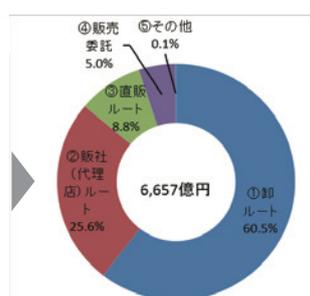
	1期前の決算 金額(億円)	構成比 (%)	直近の決算 金額(億円)	構成比 (%)	前期比
①卸ルート	3,667	58.0%	4,027	60.5%	9.8%
②販社(代理店)ルート	1,717	27.1%	1,703	25.6%	-0.8%
③直販ルート	580	9.2%	589	8.8%	1.5%
小計(①+②+③)	5,965	94.3%	6,319	94.9%	5.9%
④販売委託	322	5.1%	332	5.0%	3.1%
⑤その他	36	0.6%	6	0.1%	-83.3%
販売ルート合計 (①+②+③+④+⑤)	6,323	100.0%	6,657	100.0%	5.3%

回答社数: 35社(未回答3社)

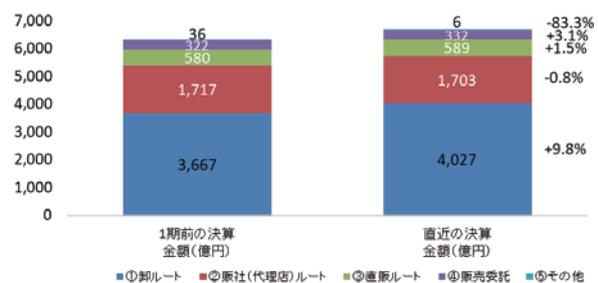
1期前



直近



販売ルート別の実績



コメント

回答のあった35社の、ジェネリック医薬品の売上は、卸ルートを中心に伸長しており、全ジェネリック医薬品=販売金額の卸ルートの構成比は60%を超えた。販社ルートは昨年に引き続き、微減となった。

質問3

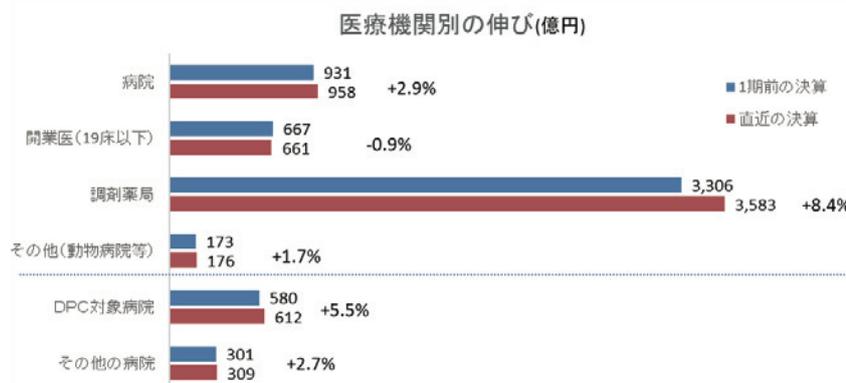
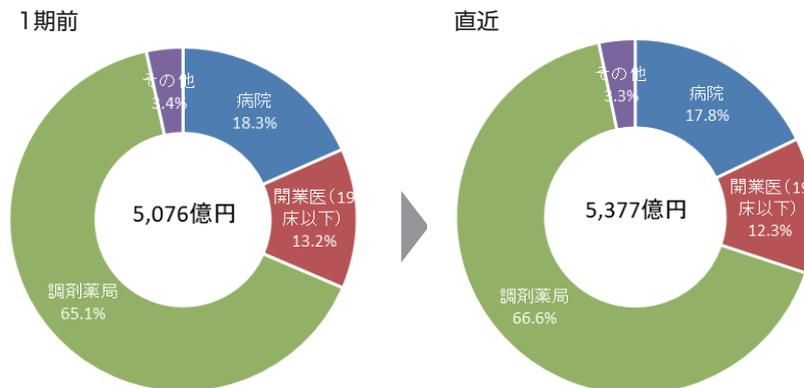
施設別取引高と構成比をご記入ください
（*質問2で①～③に売上があった会社のみ）。

- 各社で把握しているもののみを記載して下さい(電子化データ未入手などの理由により集計ができない場合は「未集計」に記載下さい)
- 病院の売上(①200床以上/②199床以下)については、任意の記載事項とさせていただきます。
- 質問2の「小計」が、以下の「医療機関 合計」と等しくなるよう記載下さい。

施設別取引高と構成比

	1期前の決算		直近の決算		前期比
	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	構成比(%)	
病院	930	18.3%	957	17.8%	2.9%
参考DPC対象病院(準備病院を含む)	580	11.4%	612	11.4%	5.5%
参考 その他の病院	301	5.9%	309	5.7%	2.7%
開業医(19床以下)	667	13.2%	661	12.3%	-0.9%
調剤薬局	3,306	65.1%	3,583	66.6%	8.4%
その他(動物病院等)	173	3.4%	176	3.3%	1.7%
医療機関 合計	5,076	100.0%	5,377	100.0%	5.9%

回答社数：16社（DPC病院の分類は13社）



コメント

調剤薬局での伸びが+8.4%と大きく、販売金額の構成比では66.6%となった。

質問4 卸業者との取引についてご記入下さい。(2019年3月31日現在)

卸 / 販社との取引の有無

	自社販路を 持つメーカー数	取引あり	取引率
メディバルHD	33	30	91%
スズケングループ		28	85%
アルフレッサHD		30	91%
東邦HD		30	91%
バイタルケーエスケーHD		29	88%
販社		23	70%

コメント

自社販路の多くが卸チャンネルを活用しており、また70%の会社は販社のチャンネルを活用している。販社との取引は、3社から300社以上との取引がある旨報告された。

質問5

【質問 5】緊急配送体制についてお伺いします(*質問2で①~②に売上があった会社のみ)。御社は緊急配送体制(=卸業者より規定の受注締切時間以降に緊急配送の求めがあった場合、それに応じる体制)を有していますか? また、2018年度中に要請があった件数、対応できた件数をご記入ください。

※「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」に記載の取組(抜粋)

引き続き、卸業者が納期(翌日配送等)を指定する場合に、当該納期に対応する配送体制を確保するとともに、卸業者が在庫切れした場合の即日配送を95%以上にする。〔継続事業〕

緊急出荷体制の有無			
ありの会社	24	なしの会社	5

自社販路を持つ会社:33社のうち29社

実際に緊急出荷の依頼を受けた企業	14
依頼に対応した企業	14(100%)

実際に緊急出荷の依頼を受けた件数	1,248
依頼に対応できた件数	1,248 (100%)

コメント

回答した29社のうち、24社が規定時間外の注文にも応じる体制を確保しており、実際に依頼を受けた14社については、集計期間中に緊急出荷の依頼があった件数の100%に対応できたとの報告があった。

質問6

2021年3月末に向け、販売包装単位、および元梱包装単位への変動情報を含むバーコードの付与が原則化されます。御社の状況について下記の表に記載ください。

- 2019年3月末現在の状況をお答えください。
- 委託製造を含む全アイテム、そのうち自社製造分についてそれぞれご記入をお願いします。

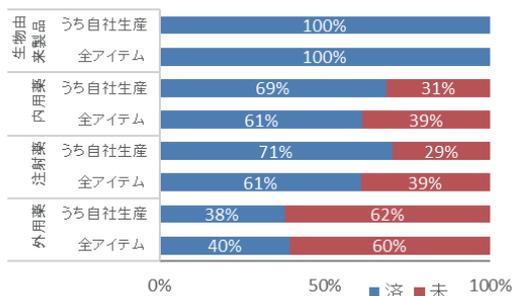
1) 調剤包装単位

区 分		アイテム数	新バーコード表示数		
			商品コード	有効期限	製造番号又は製造記号
特定生物由来製品	全アイテム	0	0	0	0
	うち自社生産	0	0	0	0
生物由来製品 (特定生物由来製品を除く)	全アイテム	55	55	2	2
	うち自社生産	38	38	2	2
内用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	9,317	9,251	8	8
	うち自社生産	7,043	7,042	5	5
注射薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,293	1,283	29	29
	うち自社生産	855	855	20	20
外用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,132	1,056	44	44
	うち自社生産	571	571	29	29

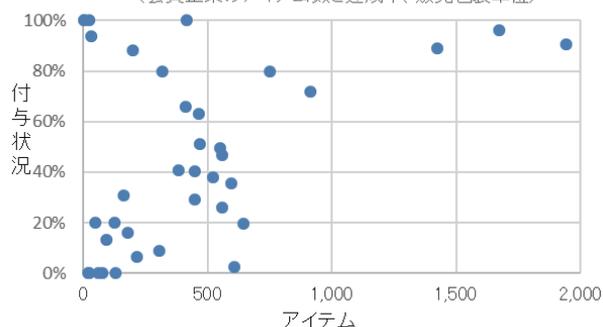
2) 販売包装単位

区 分		アイテム数	新バーコード表示数		
			商品コード	有効期限	製造番号又は製造記号
特定生物由来製品	全アイテム	0	0	0	0
	うち自社生産	0	0	0	0
生物由来製品 (特定生物由来製品を除く)	全アイテム	56	56	56	56
	うち自社生産	39	39	39	39
内用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	12,349	12,265	9,164	9,164
	うち自社生産	9,248	9,237	7,319	7,319
注射薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,375	1,312	1,080	1,080
	うち自社生産	916	943	784	784
外用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,303	1,276	652	652
	うち自社生産	602	602	277	277

変動情報を含むバーコードの付与状況
(剤型区分別、販売包装単位)

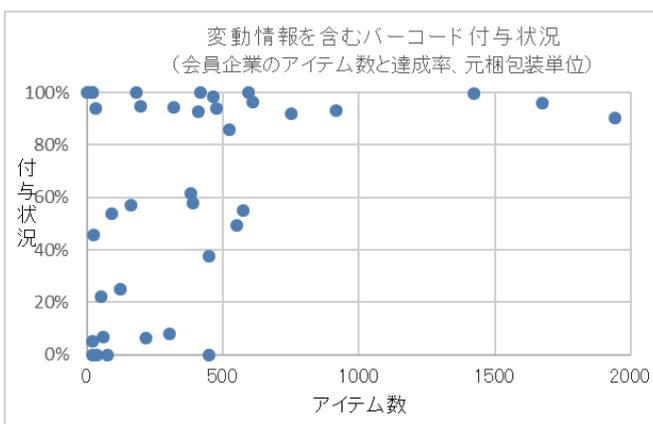
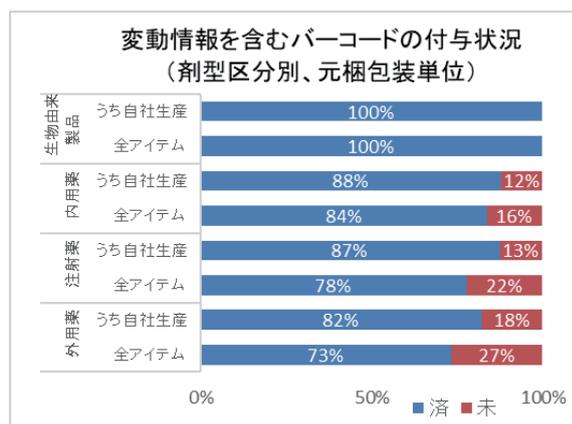


変動情報を含むバーコード付与状況
(会員企業のアイテム数と達成率、販売包装単位)



3) 元梱包装単位

区 分	アイテム数	新バーコード表示数			
		商品コード	有効期限	製造番号又は製造記号	数量
特定生物由来製品	全アイテム	0	0	0	0
	うち自社生産	0	0	0	0
生物由来製品 (特定生物由来製品を除く)	全アイテム	56	56	56	56
	うち自社生産	66	59	59	66
内用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	11,719	11,060	10,797	10,406
	うち自社生産	8,642	8,424	8,252	8,045
注射薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,340	1,219	1,219	1,174
	うち自社生産	882	852	852	825
外用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,285	953	947	946
	うち自社生産	592	450	444	444



コメント

販売包装単位への変動情報を含むバーコードの付与状況は、昨年度の同集計よりも進み、内用薬で74%(自社生産品では79%)、注射剤では79%(同86%)となった。一方、外用剤でも進捗はみられたものの、50%(同46%)とやや遅れがみられる。尚、元梱単位でも同様に外用剤で遅れが見られた。

昨年の傾向と同様、アイテム数の多い会社は、高い遂行率となっているが、アイテム数が500前後の会社に遂行率の低い会社が見受けられる。